

(公財) 日本科学技術振興財団
(公社) 映像文化製作者連盟
(公財) つくば科学万博記念財団
(一財) 新技術振興渡辺記念会

「第 67 回科学技術映像祭」入選作品の決定および 入選作品発表会・表彰状授与式について

優れた科学技術映像を選奨することを目的として開催しております「第 67 回科学技術映像祭」において、入選 16 作品が決定しましたので、ご案内申し上げます。選定された作品には、内閣総理大臣賞（1 作品）、文部科学大臣賞（3 作品）、優秀賞（8 作品）、学生部門奨励賞（1 作品）、つくば科学万博記念財団理事長賞（1 作品）、新技術振興渡辺記念会理事長賞（1 作品）、科学技術館館長賞（1 作品）があり、これらの賞は、それぞれ企画者ならびに製作者に贈られます。

表彰式は、2026 年 8 月 19 日（水）、科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号）にて開催いたします。

当日は 12 時 30 分より内閣総理大臣賞受賞作品の上映、13 時より表彰式を実施いたします。また、表彰状の授与に加え、内閣総理大臣賞および文部科学大臣賞の受賞者による受賞記念スピーチも予定しております。

なお、入選作品は科学技術館のほか、全国各都市の科学館等において順次上映会が開催されます。

内閣総理大臣賞（1 作品）

イトウはどうして絶滅危惧種となったのか？

企画・製作：国立研究開発法人国立環境研究所

文部科学大臣賞（3 作品）

ガリレオ X 地球最強の歯を作る貝 ヒザラガイ

企画・製作：ワック株式会社

QuizKnock・須貝が物理学者・村山斉と KEK に潜入！光速の 99.999999%の速さを出せる実験施設を調査

企画・製作：大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

自動実験ロボット&AI で発見！リチウム空気電池の“常識破り”な電解液

企画・製作：国立研究開発法人物質・材料研究機構

以下については、別紙 1 参照

優秀賞（8 作品）

学生部門奨励賞（1 作品）

つくば科学万博記念財団理事長賞（1 作品）

新技術振興渡辺記念会理事長賞（1 作品）

科学技術館館長賞（1 作品）

☆入選作品のシノプシスは別紙 2 を参照

お問合せ先

科学技術映像祭事務局（公益財団法人日本科学技術振興財団 内）

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

TEL. 03-3212-8487 FAX. 03-3212-0014 E-mail filmfest@jsf.or.jp

※入選作品の文字データ、写真データが必要な方は、「科学技術映像祭」事務局までお問い合わせください。E-mail や郵送等にてお送りさせていただきます。

第 67 回科学技術映像祭の概要

科学技術映像祭は、科学技術を正確にわかりやすく伝える優れた映像を選奨し、科学技術への関心を喚起するとともにその普及をはかり、もって我が国の科学技術の振興に資することを目的として 1960（昭和 35）年より開催し、今回、第 67 回を迎えました。

優れた科学技術映像の選定にあたっては、まず運営委員会（委員長：永野博（公社）日本工学アカデミー 顧問、他委員 6 名）を組織し、運営委員会の示す基本方針の下、2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに完成または放映された作品を公募し、「一般部門・長編」「一般部門・短編」「学生部門・長編」「学生部門・短編」の 4 部門に対し、30 機関から 40 作品が出品されました。出品された作品について、小出重幸審査委員長（日本科学技術ジャーナリスト会議 理事）をはじめとして 10 名の審査委員により審査試写ならびに討論を実施し、入選作品を選出、運営委員会において決定しました。決定した作品には、内閣総理大臣賞（1 作品）、文部科学大臣賞（3 作品）、優秀賞（8 作品）、学生部門奨励賞（1 作品）、新技術振興渡辺記念会理事長賞（1 作品）、つくば科学万博記念財団理事長賞（1 作品）、科学技術館館長賞（1 作品）が製作者ならびに企画者に贈呈されます。

＊主 催：（公財）日本科学技術振興財団 （公社）映像文化製作者連盟
（公財）つくば科学万博記念財団 （一財）新技術振興渡辺記念会

＊後 援： 文部科学省、NHK、（一社）日本民間放送連盟、（一社）日本新聞協会、
（一財）日本視聴覚教育協会、（一財）経済広報センター、
国立研究開発法人科学技術振興機構、全国科学館連携協議会、
（公財）民間放送教育協会、特定非営利活動法人 日本科学振興協会、
独立行政法人 国立高等専門学校機構

＊入選作品：別紙 1、2 参照

＊表彰式

日 時：2026 年 8 月 19 日（水）12：30～16：30

会 場：科学技術館サイエンスホール

・内閣総理大臣賞受賞作品 上映

「イトウはどうして絶滅危惧種となったのか？」

・表彰状授与式

・受賞記念スピーチ

内閣総理大臣賞および文部科学大臣賞の企画・製作者に制作秘話などをスピーチしていただきます。

お問い合わせ：科学技術映像祭事務局

東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号 TEL：03-3212-8487

＊科学技術映像祭入選作品上映：全国各地の科学館等において上映会を開催いたします。
詳細につきましては、後日「科学技術映像祭」公式ホームページにて公開いたします。

＊公式Web サイト：<https://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

【別紙 1】 入選作品一覧

表彰名	部門	種別	作品名	分数	製作機関 (企画・製作機関)	企画機関
内閣総理大臣賞	一般部門 長編	インターネット等 で配信・配布さ れている動画	イトウはどうして絶滅危惧種となったのか?	14 分	国立研究開発法人国立環 境研究所	-
文部科学大臣賞	一般部門 長編	テレビ番組	ガリレオ X 地球最強の歯を作る貝 ヒザ ラガイ	25 分	ワック株式会社	-
文部科学大臣賞	一般部門 長編	インターネット等 で配信・配布さ れている動画	QuizKnock・須貝が物理学者・村山 斉と KEKに潜入！光速の 99.999999%の速さを 出せる実験施設を調査	22 分	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究 機構	-
文部科学大臣賞	一般部門 短編	インターネット等 で配信・配布さ れている動画	自動実験ロボット & AI で発見！リチウム 空気電池の“常識破り”な電解液	8 分	国立研究開発法人物質・ 材料研究機構	-
優秀賞	一般部門 長編	テレビ番組	ガリレオ X 永遠の化学物質「PFAS」 除 去・分解・再利用する最新研究	23 分	ワック株式会社	-
優秀賞	一般部門 長編	映画・ビデオ	擬態の不思議 したたかな虫たちの生態	22 分	藤崎憲治 難波由城雄	-
優秀賞	一般部門 長編	映画・ビデオ	熊蟲萬壽無疆 The Space Bears 4 Ever 生命の戦略	33 分	株式会社東京シネマ新社	-
優秀賞	一般部門 長編	テレビ番組	KNB 報道スペシャル 終わりなき白の濁 ～イタイイタイ病 70 年の真実～	52 分	北日本放送株式会社	-
優秀賞	一般部門 長編	テレビ番組	タコガール!!～わたしの中のものなか～	47 分	南海放送株式会社	-
優秀賞	一般部門 長編	テレビ番組	所さんの目がテン！オーストラリア タスマ ニアの科学	24 分	日本テレビ放送網株式會 社	-
優秀賞／科学技術 館館長賞	一般部門 長編	博物館やイベン ト等における展 示映像	トラックメイカー～恐竜たちの足跡をたどっ て～	17 分	福井県立恐竜博物館	株式會社ティー ツウー
優秀賞	一般部門 長編	テレビ番組	ガリレオ X ヴォイニッチ写本の謎 この本 はデタラメなのか？	23 分	ワック株式会社	-
学生部門奨励賞	学生部門 短編	インターネット等 で配信・配布さ れている動画	ひまつぶしかがく	4 分	城西国際大学メディア学部 中川ゼミ	-
新技術振興渡辺記 念会理事長賞	一般部門 長編	インターネット等 で配信・配布さ れている動画	未来に胸を張れる、エンジン車を。CO ₂ を 排出しないエンジン車に挑む、技術者たち の旅路。	11 分	LUCK 株式会社	-
つくば科学万博記 念財団理事長賞	学生部門 短編	映画・ビデオ	ニホンウナギの光による誘導システム	6 分	明治大学付属八王子高等 学校 嘉手納杏果	-

【別紙 2】 入選作品シノプシス

表彰名	作品名	シノプシス
内閣総理大臣賞	イトウはどうして絶滅危惧種となったのか？	かつて東北から北海道の河川に広く生息していた日本最大級の淡水魚イトウ。ペリー提督によって函館で発見され新種として記載されたこの魚は、なぜ急速に姿を消したのか。繁殖行動の特性や、蛇行河川の消失に代表される生息環境の変化から、その理由を解き明かす。さらに後半では、再生可能エネルギー開発が新たな脅威となり得る可能性にも触れる。
文部科学大臣賞	ガリレオ X 地球最強の歯を作る貝 ヒザラガイ	ヒザラガイは、日本中の磯に生息するありふれた貝である。しかし、その歯は磁鉄鉱によって構成され、生物が生み出す構造の中でも最も高い硬度を示す。本作は、その歯の形成プロセスをはじめ、石でできた視覚器官、柔軟性と防御性を両立する外殻構造など、他に類を見ない生命機構を高精細映像と電子顕微鏡観察で克明に記録する。さらに、新規タンパク質 RTMP1 の発見を軸に、バイオミネラリゼーション研究の最前線を追い、基礎科学が次世代材料技術や先端医療に繋がる過程を、科学の驚きと映像の美しさで伝える。
文部科学大臣賞	QuizKnock・須貝が物理学者・村山斉と KEK に潜入！光速の 99.999999% の速さを出せる実験施設を調査	KEK(高エネルギー加速器研究機構)を訪れた須貝駿貴氏が、村山斉氏の案内のもと、加速器や検出器などの施設を、研究の「過去・現在・未来」をたどるように巡る。粒子をほぼ光速まで加速する装置や実験の現場を見学しながら、素朴な疑問を率直に投げかけていく。実物に触れる体験や丁寧な解説を通じて、遠く感じていた物理の世界が少しずつ身近に感じられていく。映像を通して、「知ること」の楽しさや発見のよろこびを、観る人と共有していく内容となっている。
文部科学大臣賞	自動実験ロボット & AI で発見！リチウム空気電池の“常識破り”な電解液	研究を加速させるロボットや AI。しかし、これらを効果的に利用するためには、ロボットや AI をたくみに操る「研究者」の存在が不可欠です。本作は、自動実験ロボットと AI を導入し、リチウム空気電池の電解液研究を劇的に加速させた事例を紹介します。NIMS の松田翔一と Guillaume Lambard は、1000 万通りを超える候補から電池の寿命を 2 倍近く伸ばす電解液を、わずか 3 カ月で発見。その電解液は、従来必要と思われていた物質を含まない、まさに常識を覆すものでした。

優秀賞	ガリレオ X 永遠の化学物質「PFAS」 除去・分解・再利用する最新研究	PFAS(ピーファス)と呼ばれる化学物質群が、いま日本各地の水道水や河川・地下水から検出されている。PFAS はこれまで衣服の撥水加工や、フライパンの表面加工、消火剤と、あらゆる用途で使われてきた物質だ。そして自然には分解されにくい特徴から「永遠の化学物質」とも呼ばれており、さまざまな理由から環境中の水に溶け込んでいる。そして近年、この PFAS の一部で有害性が指摘されたことからその使用の規制が進められ、現在では水資源の浄化も求められており、科学の真価が試されている。
優秀賞	擬態の不思議 したたかな虫たちの生態	遠い外国や、海中等簡単に見ることのできない生き物ではなく、私達のすぐ近くにある里山に棲む、なじみ深い小さな昆虫やクモ等のしたたかで興味深い擬態の姿を、その生態と共に楽しくまとめた作品である。
優秀賞	くまむしばんじゅきわみなし 熊蟲萬壽無疆 The Space Bears 4 Ever 生命の戦略	宇宙実験の映像から幕を開け、「最強」と呼ばれたクマムシの神話的イメージを提示する。やがて視点は身近な苔の水滴へと移り、三群それぞれの摂食、脱皮、産卵の営みを克明に見つめる。静かな日常は突如訪れる乾燥によって断ち切れ、個体は乾眠形成という極限の選択へと向かう。回復の瞬間と卵の反応差を追い、生存が条件に応じて選ばれる戦略の連鎖であることを描き出す。
優秀賞	KNB 報道スペシャル 終わりになき白の濁～イタイイタイ病 70 年の真実～	奇病とされた「イタイイタイ病」の原因は神通川上流の神岡鉱山から排出されたカドミウムだと特定された。コメや水から摂取すると腎臓に障害を与え、その結果骨がもろくなる。最後の生き証人の男性は「カドミウム汚染農地の復元範囲が左岸に比べて右岸で極端に少ない」と証言。当時の富山県の調査が不十分だった疑惑が浮かび上がる。そこで、科学者監修のもと農地の土を独自に調査。その結果、過去の調査の平均値を超えるカドミウム濃度を検出した地点があった。富山県の対策は安心できるのか検証する。
優秀賞	タコガール!!～わたしの中のもなか～	“なつつん”はタコ大好き高校生。中学生のときは“タコ研”(タコの研究)と呼ばれていたほど。タコの研究がしたくて愛媛県立長浜高校に越境入学しました。入部早々、タコ水槽を作るなどタコたちと充実した日々。お気に入り、2年生の秋、漁師さんにもらったマダコの「もなか」です。水族館部では研究班に所属し「鏡像自己認知」の研究を始めます。でもなかなかうまくいかず…。そんな頃、水族館の引越しが始まりました。大事件も発生する中、小さな命と向き合い成長する高校生の物語です。
優秀賞	所さんの目がテン！オーストラリア タスマニアの科学	独自の生態系が色濃く残るタスマニア島で、太古の姿をとどめる生き物を探索する。夜の森では、恐竜時代のセミの特徴を持つ「ムカシゼミ」を発見。寒さに耐えるため体毛に覆われ、発音器官を持たずに筋肉の振動でコミュニケーションをとるとい、現在のセミとは異なるユニークな生態に迫る。さらに、生きた化石と呼ばれる淡水性甲殻類「アナスピデス」を求め、陰しい山を登り高山の湖へ向かう。約 2 億年前から姿をほとんど変えずに生き残ってきたそのありのままの姿をカメラに捉え、生命進化の不思議を体感する。

優秀賞／科学技術館館長賞	トラックメイカー～恐竜たちの足跡をたどって～	恐竜の足跡化石は世界各地から発見されており、長年多くの古生物学者によって研究されてきました。これまでの研究で、足跡化石は骨や歯の化石だけでは知ることのできない恐竜たちの行動や生活の様子を読み解くカギになることが明らかになっています。この映像では、国内外で見つかった足跡化石を実際に見ていきながら、それらの研究によって明らかになったトラックメイカー（足跡[track]＋作った者[maker]）である恐竜たちの行動や生活の一部を紹介していきます。
優秀賞	ガリレオ X ヴォイニッチ写本の謎 この本はデタラメなのか？	いつ、どこで、誰が書いたのかも不明な「ヴォイニッチ写本」という未解読文献がある。世界中で解読への挑戦が続けられているが、その内容は未だに明らかになっていない。いつしか「本の文章は意味を持たずデタラメである」という説が登場し、多くの人々に支持されるようになってしまった。そんなデタラメ文章説を検証するため、日本の研究者たちが立ち上がった。世界で最も有名な未解読文章の謎に迫る。
学生部門奨励賞	ひまつぶしかがく	フレーミング効果、プライミング効果、アンカリング効果という3つの心理現象と映像表現との関わりを実写やイラスト、親しみやすいおばあちゃんのキャラクターなどを用いてわかりやすく解説しています。
新技術振興渡辺記念会理事長賞	未来に胸を張れる、エンジン車を。CO ₂ を排出しないエンジン車に挑む、技術者たちの旅路。	環境対応の流れの中で厳しい視線を向けられる内燃機関。その未来を変えようと、マツダの技術者たちは走行中にCO ₂ を回収する技術の実証に挑む。舞台はスーパー耐久シリーズ。高い排気温度により回収材が機能しないという壁に直面しながらも、制御と遮熱の改善を重ね、ついに実車での公開実証に成功する。環境課題と走る歓びの両立を目指す、技術者たちの挑戦の記録。
つくば科学万博記念財団理事長賞	ニホンウナギの光による誘導システム	ニホンウナギの行動が光の波長や点滅条件によって変化することに着目し、非接触で誘導する技術の開発を目的とした。従来、多くの魚種では赤色が忌避色とされるが、ニホンウナギでは青色が忌避色であることを見出した。さらに青色光と赤色光を組み合わせることで、特定方向への移動を制御できることを確認した。本研究は、養殖現場における水揚げ作業の省力化と魚体へのストレス軽減への応用が期待される。